

医療と磁気の現状と将来展望

磁気工学は医療において診断や治療を中心に様々な形で応用されてきました。今後さらに新たな研究を展開していくにはいわゆる医工学連携が不可欠であり、それぞれの分野の連携や協力が必要です。本研究会では医療現場、企業、大学等のそれぞれ異なる分野から 4 人の講師をお招きし多角的な観点で磁気と医療に関する最新の研究動向と今後の展望をご講演していただきます。発表はチュートリアルを多くしわかりやすいものにしていただきます。合わせて全体を通しての質疑応答の時間を設け、来場者の皆様と活発な議論ができるようにしました。多くの方のご参加をお待ちしております。

- 日時: 2017 年 1 月 27 日 (金) 13:30 ~ 16:45
- 場所: 中央大学駿河台記念館 330 号室 (東京都千代田区神田駿河台 3-11-5)
TEL: 03-3292-3111 (記念館事務室)
URL: http://www.chuo-u.ac.jp/chuo-u/access/access_surugadai_j.html
- 参加費: 無料 (研究会資料予約購読者, 学生)
3,000 円 (会員, 協賛会員)
6,000 円 (非会員)
- 資料代: 2,000 円 (会員, 協賛会員, 学生)
4,000 円 (非会員)
- 協賛: IEEE MAG-33 Sendai/Tokyo/Shin-Etsu/Nagoya/Kansai Chapters、応用物理学会、電気学会、ナノ学会、日本金属学会、日本磁気科学会、日本生体医学工学会、日本生体磁気学会、日本セラミックス協会、日本ハイパーサーミア学会、粉体粉末冶金協会、磁性流体研究連絡会
- 問い合わせ先: 日本磁気学会事務局 TEL: 03-5281-0106
http://www.magnetics.jp/event/research/topical_211/
- オーガナイザ: Adarsh Sandhu (電通大)、間宮広明 (物材機構)、野田紘憲 (和歌山大)、吉田 敬 (九大)

プログラム

- 座長: Adarsh Sandhu (電通大)
- 13:30 - 14:30 「MEMS の現状、および磁気を中心としたマイクロ技術の医療応用」
○江刺正喜 (東北大)
- 14:30 - 15:10 「医療現場から鉄を中心に癌および磁氣的治療を考える」
○大原利章 (岡山大)
- 休憩 (15 分)
- 座長: 野田紘憲 (和歌山大)
- 15:25 - 15:55 「機能性磁性ビーズの医療・バイオテクノロジーへの応用」
○畠山 士 (多摩川精機)
- 15:55 - 16:25 「磁性粒子を用いた医療診断技術」
○高村 司 (豊橋技科大)
- 16:25 - 16:45 全体を通しての質疑応答

当学会では、研究会でのビデオ・写真撮影および録音はご遠慮いただいております。